

宮崎県社会福祉サービス第三者評価結果書

評価完了日 令和8年3月23日

評価機関 特定非営利活動法人みやざき保健・福祉サービス評価機構

評価実施期間 令和7年12月25日～令和8年3月23日

1 第三者評価結果の概要

(1) 施設・事業所情報

施設・事業所名	真幸認定こども園	種別	幼保連携型認定こども園
代表者氏名	吉岡 知美	定員 (利用人数)	1号・新2号認定15名 2号・3号認定40名
所在地	宮崎県えびの市向江 1040 番地 1	TEL	0984-37-1495
		FAX	0984-37-1495
ホームページ	https://ebino.net/coeyaeasaaaaoe/		

(2) 評価結果

① 特に評価の高い点

小学校卒業までの間家庭の育ちに関われる環境が用意されている園だけでなく隣接する小学校の学童保育も法人が担当しており、12年の養育に対応できる環境を提供している。その中で市の保健師や家庭相談員の巡回相談の活用や療育施設の先生からの助言、また卒園児が通う小学校との連携にも取組み家庭の養育を支援している。

災害や防犯等の訓練や備えが年間を通して行われている月ごとに様々な事態を想定し避難訓練や防犯訓練を実施し保護者の引き渡し訓練も行うことで保護者にも防災意識を持つようにしている。また非常食の備蓄だけでなく万一のための AED の装備や人工呼吸器を設置し万一の事態に対応できるようにして安全安心を確保するよう整備している。

幼児期から生涯の健康づくりに減塩嗜好とかむ力を目標に食育が行われている。

また、添加物を使わず減塩と野菜の摂取量が多い。更に全て手作りのヨーグルトやパンのおやつになっている。食育及び健康維持の目標である噛む力と減塩嗜好に取り組んでいる。

健康で安全、安心な保育所としての積極的な取り組みがされている

一人ひとりの健康管理台帳は入園前の健診や予防接種が把握され、入園後は全職員に共有される。年2回の健康診断前に医師への相談や質問を保護者アンケートにて事前把握を取り入れている。乳幼児突然死症候群対策には、睡眠時の5分毎の観察とうつぶせ寝に警報するベビーセンスを導入している。園内でケガをした場所をもわかり易い地図にして掲示し再発防止を促している。保護者には毎月保健だよりを発行している。

② 改善が求められる点

園の課題について組織的な取組となるよう改善が望まれる園の課題については運営部会等で協議し職員会議で共有化が図られているが上層部だけの協議になっている。本来は個々の自己評価から分析して出した課題をとりまとめ、職員の参画のもと改善計画の作成につなげることが求められている。その点について職員と上層部の園全体の取組となるよう組織的な仕組みづくりが望まれる。全体的な計画は運営の取組をすべて網羅する必要があります。

全体的な計画は現状の保育に沿って発達過程をもとに内容を刷新したとのこと。それ自体は評価できる内容です。一方で、全体的な計画は子どもの成長に関わる全ての要素(養護と教育、食育、保健、子育て支援など)を網羅する包括的な内容で作成されることが求められています。次回は保育に関わる職員の参加も企図しているとのこと。ぜひその見直しでは、園が行っている取組の全体像が見えるようにすることを期待します。

③ 評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受けることで、自分たちがしていることを振り返り、園の強みと弱み、課題や改善点が明確になり、とても勉強になりました。上層部だけではなく、職員の意見を取り入れながら、組織的な仕組みを作り、園全体での改善計画や、取り組みが出来るようにしていきたいと思います。

利用者アンケートは、保護者の意見を聞くいい機会になったので、内容を検討し保護者にも情報発信しながら、保育サービスの質の向上に努めていきたいと思っています。

2 施設・事業所情報

経営法人・設置主体	社会福祉法人協和福祉会
開設年月日	平成17年4月1日
理念・基本方針	「毎日にこんにちは みんなにありがとう 真幸認定こども園」 1. 私たちは子どもたちの可能性を尊重し、愛情をもって関わり、生きる力を育みます 2. 私たちは仲間と通じ合える喜び、笑顔、思いやり、感謝の気持ちを大切にし、共に育ちあいながら歩み続けます 3. 私たちは自然やふるさとは、どれだけ素晴らしいかを伝えていきます 4. 真幸認定こども園は、関わるすべての人たちの心のよりどころとして存在し続けます

事業内容	幼保連携型認定こども園の運営 延長保育事業 障がい児保育事業	
職員数	常勤職員数 19名 非常勤職員数 5名	
専門職	常勤（専門職の名称） 保育教諭名 11名、調理員 3名、 学童保育者 3名	非常勤（専門職の名称） 保育教諭名 2名、調理員 2名、 学童保育者 1名
施設・設備の概要	園舎面積 497.25 m ² 園庭面積 683.04 m ² 居室6室、トイレ1室、沐浴室1室、調理室1室、事務室1室、別棟1棟	
特徴的な取組	<p>◆教育・保育目標として</p> 誰からも愛される子ども【愛着・自我形成】 自分のことを言える子ども【主体性】 自分で考えることができる子ども【自発性】 自分を大切にできる子ども【自尊心】 自分のことができる子ども【自立へと向かう】 ◎大人に大切にされている愛情を基本として自分を大切にすることができるように関わる ◎豊かな体験を通して自然と共生し、子どもの自発的な気づきに心から共感して、その育ちを支える ◎多様な経験を通して、自分のやりたいことができる喜びになるように環境を作りじっくり丁寧にかかわる ◎食を通して子どもの健康な体づくりに関わる <p>◆特色ある活動</p> 運動遊び、言葉の学習、音楽リズム、さくらさくらんぼリズム	